

## 8-2-2 業界展望を考える若手技術者の会

### 1. 委員会の開催

委員会開催回数：11 回開催

若手の会は、全国各支部から 20～30 代のメンバーを集め活動を展開している。若手の会は、月 1 回程度の会合とあわせて、他組織や他支部の若手組織との連携を図っている。

### 2. 実績報告

#### (1) 全国各支部の若手組織代表者会議

全国各支部の若手活動組織の代表者を集め、4 月 7 日（金）に全国大会を開催した。内容としては、各支部で活動している事例を紹介してもらい、好事例を共有し、全国への水平展開のきっかけとした。

#### (2) 支部若手組織との交流会開催

若手の会では、各支部若手組織との交流会として、これまでに北陸支部（平成 27 年 8 月 28 日）、関東支部（平成 27 年 12 月 11 日）、九州支部（平成 28 年 5 月 27 日）、近畿支部（平成 28 年 10 月 28 日）、東北支部（平成 29 年 6 月 2 日）、中国支部（平成 29 年 10 月 27 日）と合計 6 回実施してきている（今年度 2 回）。

#### (3) 建コンアカデミアの開催

パシフィックコンサルタンツ株式会社代表取締役会長の長谷川伸一氏（前建設コンサルタンツ協会会長）をお招きして、『第 1 回建コンアカデミア』を開校した。参加者は本部若手の会メンバーほか、関東若手の会メンバー、魂のメルマガからの応募者など、計 25 名が参加。『建コンアカデミア』とは、“次世代学びの舎”として位置づけ、建コン業界の若手世代と、業界内外の企業経営者との対談を行い、業界の将来を担う人材としての気概を高めることを目的に開校するもので、今後も継続して実施していく予定である。

#### (4) 若手の『シゴト観アンケート調査』の実施

建コン業界の若手技術者を対象に、現在のシゴト観に関するアンケート調査を実施し、回答者が 1,199 人にも上った（平成 29 年 9 月）。調査結果では、業界の若手は「現状 73%が日常に忙殺されストレス、無気力感を感じ、悶々と

仕事をしている。一方で、70%が自分の仕事を社会的に意義あることだと認めてもらいたいという強い願望を持ち、そのためには自己研鑽を惜しまないという気概も持ち合わせている。」ことが把握された。

#### (5) リクナビ NEXT『グッドアクション 2017』受賞

若手の会の活動が認められ、リクナビ NEXT 主催の「グッドアクション 2017」を受賞した（表彰式：平成 30 年 2 月 13 日）。また、表彰式の様子は、日経クロステック、建設紙のほか、リクルート、ヤフーニュース等の業界外メディアにも多数掲載され、建コン協会の対外的 PR に貢献したと考えられる。

#### (6) 建コン業界への提案と要望の提出（予定）

これまでの若手の会の活動成果をとりまとめ、業界活性化に資する若手世代から提言として、「建コン業界への提案と要望」を作成し、総務部会へ提出した。今後、協会全体へと正式提出に向けて検討中である。

#### (7) 『魂のメルマガ』配信

「魂のメルマガ」は、平成 29 年 1 月 23 日に第 1 弾を配信し、月 2 回のペースで、現在（H30.3 時点）で 29 回配信し、閲覧数は延べ 2,500 人を超えている。本メルマガは、本部若手の会、全国各支部若手組織の各委員が持ち回りで業界活性化への熱い想いを語るコーナーと、各組織の活動紹介のコーナーを中心に構成している。

#### (8) メディア掲載実績

若手の会の活動は、建設関連紙に 24 回（今年度のみ）に掲載された。なお、日経コンストラクション平成 29 年 7 月 24 日号では、若手の会の活動の様子を見開き 2 ページで大々的に取り上げていただいた。

### 3. その他報告事項

特になし。

### 4. 次年度の活動について

#### (1) 上記内容を継続的に実施する。

（業界展望を考える若手技術者の会委員長  
伊藤 昌明）